

「選択する未来」委員会の設置について（案）

平成 26 年 1 月 20 日
経済財政政策担当大臣

1 趣旨 ～ アベノミクスを中長期的な発展につなげるために

今後半世紀、世界経済や人口など日本を取り巻く環境には大きな変化が予想される。こうした中、世界経済に占める日本経済の規模が縮小していくという見方もある。しかしながら、こうした姿を政策努力や人々の意志によって大きく変える、すなわち「未来を選択する」ことは可能である。

アベノミクスによって生じた景気回復の動きを確実なものとしつつ、わが国の中長期発展につなげていくため、今後半世紀先までの構造変化を見据えつつ、東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年頃までに重点的かつ分野横断的に取り組むべき課題を抽出し、その課題克服に向け包括的に取組を進めていくことが重要である。

このため、経済財政諮問会議の下に、専門調査会として「選択する未来」委員会を設置する。「選択する未来」委員会では、経済財政諮問会議で取り組む戦略的課題について、その裏付けとなる中長期・マクロ的観点からの分析、考え方を提示していく。また、今後の長期的な変化を見通した議論を深め、様々な分野横断的な問題を発掘し、その対応の方向性を明らかにしていく。その中で、本年の骨太方針に反映すべきものは盛り込んでいく。

2 主要検討課題

- 今後の構造変化を見据えた日本経済の発展メカニズムの構築
- 健康長寿を実現し、男女ともに生涯にわたって能力を発揮できる環境づくり
- 人と活動の集積の効果の発揮と個性を活かした地域づくり